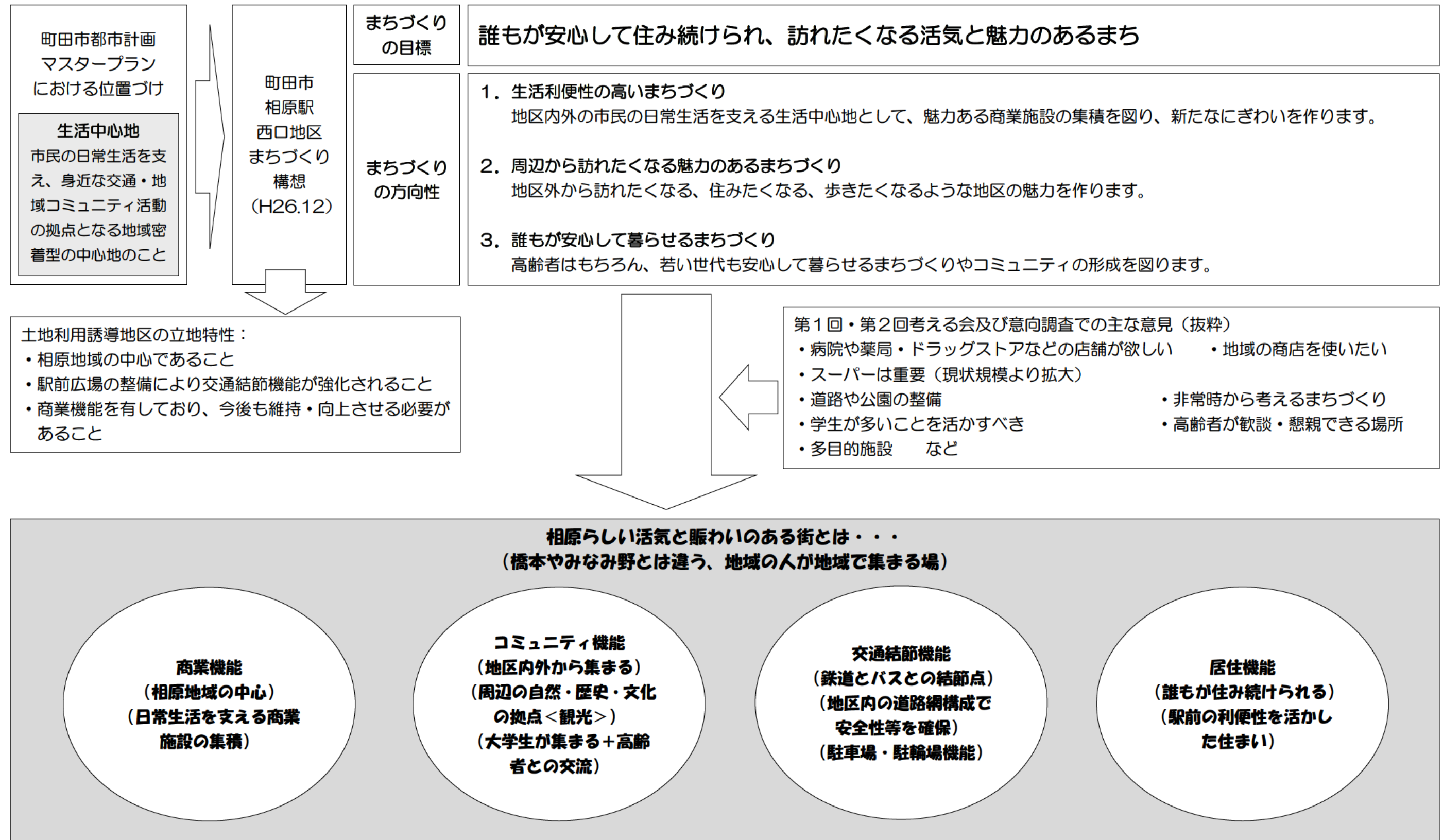


資料2 土地利用誘導地区における街の将来イメージと街の機能について

■土地利用誘導地区の街づくりの方向性（たたき台）



■土地利用誘導地区の街の将来イメージ（たたき台）

実現したい街、相原らしい活気と賑わいのある街について、将来の土地利用の可能性も含めて、街の将来イメージについて示してみます。

地区の西側は、
“個人商店や事務所、住宅等の多様な利用がされる街”

地区の東側は、
“大中規模店舗の立地する街”

＜西北側＞

- 地区内の道路ネットワークを形成し、地区内の安全性を確保するとともに、居住人口の増加を図ります。
- 駅近くという立地特性を活かし、駅前周辺の生活中心地の役割の一部を担い、住宅を基本としながらも中小規模の店舗や事務所なども立地できるようにします。
- 旧町田街道や都市計画道路などの整備により、安全な歩行環境を形成します。



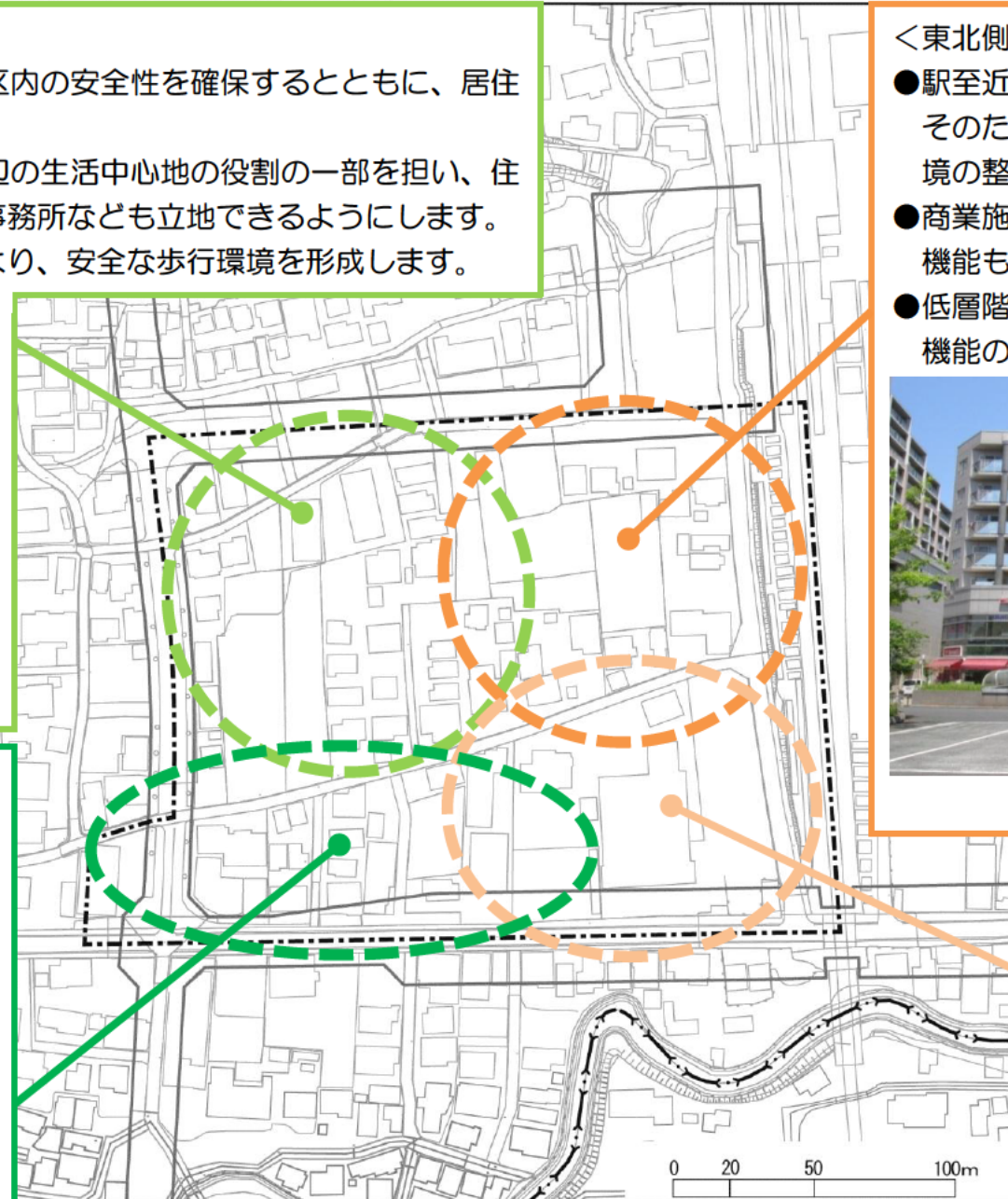
上石神井駅北口

＜西南側＞

- 幹線道路の整備に併せ、駅近くと幹線道路沿道の特性を活かし、駅前周辺の生活中心地の役割の一部を担い、市民の暮らしを支える商業地を形成し、生活を支える機能の集積・向上を図ります。



大泉学園駅北口



＜東北側＞

- 駅至近の立地を活かし、土地の有効利用や商業施設等による利用を図ります。そのため、適切な規模の土地の集約化、区画の整備を図り、都市基盤と建物環境の整備を図ります。
- 商業施設のみならず、地域の拠点・地域の核として、コミュニティ機能や居住機能も備えたものとしします。
- 低層階には商業機能を集積させ、にぎわいを創出するとともに、生活を支える機能の集積・向上を図ります。



清瀬駅北口



狹山市駅西口

＜東南側＞

- 北東側を補完する位置づけとします。
- 商業、住宅などの機能、コミュニティ機能などを想定します。
- 一定の土地の集約化、区画の整備を図り、都市基盤と建物環境の整備を図ります。



大泉学園駅南口